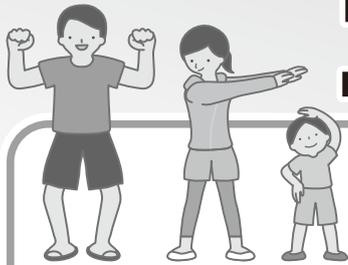


楽しく、体を動かしましょう!

スポーツ教室



⑧ピラティス教室

対象 市内に在住・通勤する方
日時 ①4/7～R9/3/16の毎週火曜 18時30分～19時30分 ②4/9～R9/3/18の毎週木曜10時～11時
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
講師 ①工藤綾氏 ②岸本亜弥子氏
持ち物 動きやすい服装、飲み物、タオル
定員 ①65人(申込順) ②90人(申込順)
費用 前期(4月～11月)10,000円 後期(12月～3月)5,000円

⑨フィットネス教室

有酸素運動で汗を流し、心身をリフレッシュします。
対象 市内に在住・通勤する方
日時 4/9～R9/3/18の毎週木曜 19時30分～20時30分
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
講師 フィットネスインストラクター 大嶋春香氏
持ち物 室内用運動靴、動きやすい服装、飲み物、タオル
定員 30人(申込順)
費用 前期(4月～11月)10,000円 後期(12月～3月)5,000円

⑩スポレク出前講座

健康体カづくりやコミュニケーションを深めるお手伝いをします。
内容 スポーツ・レクリエーション、体育実技、フィットネス、ダンスなど
対象 市内在住・通勤・通学するおおむね10人以上の団体
時間 平日10時～17時
 ※土・日曜要相談、1回2時間まで
場所 申請者が確保した会場
講師 石狩市スポーツ協会 インストラクター
費用 1時間2,000円
 ※内容により1,000円追加

④～⑩共通事項

申込・問合せ

(公財)石狩市スポーツ協会
 ☎64・1220 FAX64・1222

✉i-sports@crocus.ocn.ne.jp

※⑩は開催希望日の14日前までに要申込



▲申込

④初心者スポーツ教室 サッカー

対象 ①幼児(年中・年長) ②小学1～3年生
日時 4/1～R9/3/31の毎週水曜
 ①14時30分～15時30分 ②16時～17時
場所 スポーツ広場(花畔337・3)、サン・ビレッジいしかり(新港中央1・701)
講師 石狩サッカー協会
持ち物 サッカーシューズ、動きやすい服装
定員 ①20人(申込順) ②30人(申込順)
費用 月1,000円、保険料800円

⑤初心者スポーツ教室 少林寺拳法

対象 幼児・小学生
日時 4/9～11/26の毎週木曜 16時30分～17時30分
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
講師 (公財)石狩市スポーツ協会インストラクター、石狩樽川スポーツ少年団指導員
定員 20人(申込順)

⑥初心者スポーツ教室 HIP HOPダンス教室

対象 市内に在住・通勤・通学する小学3年生以上の方(大人も可)
日時 4/8～R9/3/17の毎週水曜 16時30分～17時30分
場所 サン・ビレッジいしかり(新港中央1・701)
持ち物 室内用運動靴、動きやすい服装、飲み物、タオル
定員 20人(申込順)

⑦ヨガ教室～ハタ・ヨガ～

対象 市内に在住・通勤する方
日時 4/7～R9/3/16の毎週火曜
 ①10時～11時 ②19時45分～20時45分
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
講師 ①岸本亜弥子氏 ②工藤綾氏
持ち物 動きやすい服装、飲み物、タオル
定員 ①55人(申込順) ②45人(申込順)
費用 前期(4月～11月)10,000円 後期(12月～3月)5,000円

①キッズスポーツクラブ

内容 体づくりやボールを使った運動
対象 市内在住の幼児(年長)
日時 4/7～R9/3/16の毎週火曜 15時45分～16時30分
 ※7月と8月、祝日は休み
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
定員 30人(申込順)
費用 年10,000円

②ジュニアスポーツクラブ

内容 体づくりやボールを使った運動
対象 市内の小学1・2年生
日時 4/7～R9/3/16の毎週火曜 16時45分～17時30分
 ※7月と8月、祝日は休み
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
定員 30人(申込順)
費用 年10,000円

③シニアスポーツクラブ(前期)

内容 筋力トレーニングや軽スポーツ、有酸素運動など
対象 市内に在住・通勤する60歳以上の方
日時 4/8～11/25の毎週水曜 10時～11時
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
講師 フィットネスインストラクター 大嶋春香氏
定員 45人(申込順)
費用 前期(4月～11月)10,000円

①～③共通事項

持ち物 室内用運動靴、動きやすい服装、飲み物

申込・問合せ

(公財)石狩市スポーツ協会

☎64・1220



▲申込



うま、午、馬。

せつかくなので今年の干支「午」に関連したものを、特にこの時期、皆さんにとつてなじみ深いうま——ということで、今回は「絵馬」をご紹介します。

絵馬は現代では願い事や願いがかなったことを記し、神社に納める木の板のことで、表面に馬の絵や神様の絵など神社によってさまざまな絵柄が描かれています。ではなぜこの木札を絵馬と呼ぶのでしょうか。元々は、神々に本物の馬を奉納していたのです。

続日本紀などを見ると、祈願のために生きた馬を奉獻していたことが分かります。この献上された馬は神々の乗り物とされ、神馬や神駒などと呼ばれます。白馬が多いのは、古くから白は神聖なものと考えられてきたからです。一方で、祈雨には黒馬、祈晴には赤毛などと祈願内容によって毛色が異なると

もいわれます。

そんな馬の奉獻ですが、時代の変遷とともに土製や木製の馬形に代わつていきます。さらに馬形に代わるものとして、板に馬が描かれた「絵馬」が奉納されるようになったのです。

絵馬の形が定着すると、形や図柄も変化し、馬の絵柄以外のものも奉納されるようになっていきました。さらに、大型化した扁額形式の絵馬、いわゆる大絵馬も見られるようになります。神社や場合によっては寺院にも多くの絵馬が奉納され、現在に残されています。色彩豊かな絵馬は芸術的にも素晴らしいものですが、地位のある人物の奉納であることが多く、その地域の歴史的背景を知ることができる資料でもあります。写真1は白馬、写真2は牛若丸（源義経）と天狗が描かれ、いずれも安瀬神社に奉納され



写真1 白馬が描かれた絵馬

た絵馬です。一見関係なさそうな牛若丸も、武芸や成功、厄よけなど非常に人気の題材でした。

一方で、小絵馬と呼ばれる吊懸形式の絵馬も広まっています。祈願したい際や年中行事の折々の際、病氣平癒や子どもに関することなどが多く祈願されました。この小絵馬が現代の形につながっています。絵柄も願い事に関するものや、語呂合わせのような遊び心があるものまでさまざまで、こちらは大衆文化や民間の習俗・信仰うかがえる興味深いものです。

ぜひ神社に参拝、祈願する際には絵柄にも注目してみてください。（坂本恵衣）

写真2 牛若丸（源義経）と天狗の絵馬



学芸員
坂本 恵衣
Kei Sakamoto

専門は文化人類学。地域信仰について調べるとともに、石狩の人々の生活の中で宗教がどのように考えられていたのか、歴史の変遷などを研究する。